

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公開番号】特開2006-143685(P2006-143685A)  
 【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-022  
 【出願番号】特願2004-338616(P2004-338616)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/192 (2006.01)**  
**A 6 1 K 35/64 (2006.01)**  
**A 6 1 K 36/28 (2006.01)**  
**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/192  
 A 6 1 K 35/64  
 A 6 1 K 35/78 T  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】  
 【提出日】平成19年11月5日(2007.11.5)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0024  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0024】  
 【表1】

試料サンプル		IC <sub>50</sub> ( $\mu$ M)		
		MT1-MMP	MMP2	MMP7
桂皮酸類縁体	o-クマル酸	350	160	320
	m-クマル酸	1000以上	310	1000以上
	p-クマル酸	600	250	680
	桂皮酸	活性なし	520	活性なし
	アルテピリンC	130	130	130

【手続補正2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0026  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0026】

プロポリス抽出物によるMMP阻害活性測定

ブラジル産プロポリス原塊1グラムを粉砕し、木屑などのゴミを除去した後、抽出剤として(A)エタノール99.5%+残部水、(B)エタノール80%+水20%、(C)エタノール50%+水50%、(D)水、または(E)グリセリン80%+水20%(ミセル化抽出液)のそれぞれ3mlを用いて、すり鉢で磨り潰し、3日間室温で攪拌した。その混合物を絞り、フィルターを $6\mu$ mメッシュ)して得られた上清を各プロポリス抽出物とした。その抽

出物を濃縮後、エタノールで希釈することにより固形分濃度が20% (W/W) になるように調整した。市販されているアルテピリンCを標品として、HPLCによる分析を行い、これら5種のプロポリス抽出物に含まれるアルテピリンCを定量した。

それぞれの抽出剤を用いて得られたプロポリス抽出物の有効成分の量を表2に示し、さらに、アルテピリンCの含有量を図1に示す。なお、表2に示す各成分の量は次のようにして求めたものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

#### アレクリン抽出物によるMMP阻害活性測定

アレクリンの新芽1グラムに抽出剤として3mlのエタノール80%と水20%を加え、すり鉢で磨り潰し、3日間室温で攪拌した。その混合物を絞り、フィルターを過(6µmメッシュ)して得られた上清をアレクリン抽出物(1番絞り)とした。さらに、その絞り残渣に前記抽出剤を加え、同様に抽出した(2番絞り)。最終的に、これらの抽出物を混合し、試験用のアレクリン抽出物とした。実施例1と同様にしてMMP活性の阻害率を測定し、MT1-MMPに対する $IC_{50}$  (mg/ml)を算出したところ、0.047であった。